

青構号外
令和8年2月5日

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公印省略)

農泊実践者が行う関係人口づくりに向けた取組について

県では、農泊実践者が行う関係人口づくりに向けて、五戸町及び新郷村の2地域をモデルとし、地域外の大学生等を対象としたイベントの開催を支援しています。

つきましては、下記のとおり五戸町でイベントを開催することとなりましたので、当日の取材について御協力をお願いします。

記

1 日時：令和8年2月8日（日）10:00～12:00

2 場所：ふるさとの家（五戸町倉石又重上川原110-2）

3 主催：ふるさとの家保存会

4 対象：地域外の大学生及び地元小学生等

5 内容

冬の古民家における道具の手入れ体験
(鉈や包丁の研ぎ方を学ぶワークショップ)

| 報道機関用提供資料 | |
|------------|--------------------------------|
| 担当課 担当者 | 農林水産部構造政策課 農村活性化グループGM 竹澤 裕 |
| 電話番号 | 直通 017-734-9534 内線 5061（竹澤） |
| 報道監 | 農林水産部 次長 栗林 豊（内線：4967） |

自然と私たちとの
橋渡しをしてくれた手道具

道具のお手入れ 研ぎ方を学ぼう！

in ふるさとの家

日 時 2月8日(日) 10時～12時

場 所 ふるさとの家
五戸町倉石又重上川原110-2

定 員 親子 10組

もちもの

- 昼食に汁物をご用意します。
お椀のご持参にご協力を
お願いします。
- 飲み物、おむすびのご持参も
おすすめです。
- 研ぎたいナタ(ある方)

服 装 長袖、長ズボン
軍手(貸し出しもしています)

参 加 費 小学生 200円 大人 300円
参加費はおつりのないようご協力をお願いします

「ふるさとの家」では、今年一年でかつて里地里山にあった、生き物との関係が築かれてきた暮らしの技術や考え方を学ぶワークショップを開催してきました。

第一弾は「いきもの王国をつくろう」でした。ふるさとの家の庭にいろんな生き物が来られるように、草を刈る場所と刈らない場所をつくって、多様な生息場を設けました。

第二弾では、薪割り体験を通じて、割った薪を積み上げた場所でオツネントンボ(かみさまトンボ)が冬越しできる場をつくりました。いずれの取り組みも、私たちの暮らしが、結果的に生き物の生息環境を守ることにつながっていて、参加した子供たちがそれぞれの暮らしの中でも取り入れてくれることが期待されます。

さて、私たちが考える第三弾は、道具のお手入れです。自然と私たちとの橋渡しをしてくれた手道具を冬の間にメンテナンスをすることは、また次の一 年、安全に自然との接点をもつことに繋がります。これまでの活動では、鎌・斧・鉈・鋸といった刃物を使ってきました。そこで、ナタや包丁などの研ぎ方を学ぶワークショップを開催します。

お問い合わせ

ふるさとの家保存会 佐藤 美穂子

[TEL] 090-2796-9974 [E-mail] otomizusato@gmail.com

※このイベントは中山間ふるさと・水と土保全対策事業を活用して運営しております